



清瀬市立清瀬第三中学校 ◇◇一人一人が輝く三中◇◇

# 学校だより2月号

〒204-0002

清瀬市旭が丘 1-262

Tel 042-493-6313



学校 HP QRコード

## 学校評価報告① ～教育活動の取組と評価～

先日、開催された令和5年度学校運営連絡協議会での資料を今年度の学校経営報告させていただきます。

### 1 学校経営計画に基づく主な取組と評価

【学校教育目標】

人間尊重の精神を基盤とし、希望に満ちた社会をめざす健康で明るく、知性ある人間を育成する。

- 1 思いやりのある生徒・・・心、思いやる力、(深く)考える力 思考力
- 2 主体的に学び 行動する生徒・・・(考えたことを)行動に移す力、  
行動し続ける力、実践力 行動力
- 3 協力する生徒・・・・・・・・人間関係をつくる力 人間力

### (1)短期的・中期的な教育活動への取組と評価

① 日々の授業の充実を図り、対話的、主体的な深い学びの実現～主体的な生徒の学び、教師の学びの充実～  
本校の2学年対象の清瀬市学力調査、3学年対象の全国学力・学習状況調査については以下の結果となっている。

清瀬市学力調査(2学年対象)

| 教科      | 国語   |      |      |       |          | 数学   |      |      |       |          |
|---------|------|------|------|-------|----------|------|------|------|-------|----------|
|         | 全体   | 基礎   | 活用   | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 全体   | 基礎   | 活用   | 知識・技能 | 思考・判断・表現 |
| 目標値     | 61.3 | 66.5 | 51.7 | 61.2  | 57.5     | 55   | 59.8 | 41.3 | 59.8  | 38.6     |
| 校内平均正答率 | 56.3 | 60.1 | 49   | 56.3  | 52.8     | 49.2 | 57.7 | 24.8 | 56    | 25.8     |
| 市内平均正答率 | 62.6 | 66.9 | 54.3 | 62.2  | 59.3     | 55.6 | 62.5 | 35.9 | 62.2  | 33.9     |
| 全国平均正答率 | 63.9 | 68.7 | 54.8 | 63.1  | 60.4     | 53.4 | 59.5 | 35.9 | 58.9  | 34.5     |

全国学力・学習状況調査(3学年対象)

| 教科  | 国語    |       |          | 数学    |       |          | 英語    |       |          |
|-----|-------|-------|----------|-------|-------|----------|-------|-------|----------|
|     | 平均正答率 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 平均正答率 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 平均正答率 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 |
| 校内  | 61    | 55.2  | 65       | 48    | 51.7  | 39.2     | 41    | 46.7  | 35.3     |
| 東京都 | 72    | 70.1  | 72.9     | 54    | 58.7  | 45.8     | 52    | 57.9  | 44.8     |
| 全国  | 69.8  | 69.4  | 69.7     | 51    | 55.7  | 41.6     | 45.6  | 51.5  | 38.8     |

今回の結果から、2年生、3年生ともに市内、都内、全国平均より大きく下回っていることが分かる。

日々の授業観察から、「教える授業」から「考えさせる授業」、見通しから振り返りが生きた授業展開など教職員に校長通信を発行し研修し、年間3回の授業観察前には、再度観察ポイントを提言してきた。また、学校便りや全校朝礼等で、生徒、保護者へ「考える力」「何のために学ぶのか」等について授業の受け方について示してきた。さらに、市教委訪問では、授業規律やICTの活用についての課題も指摘された。今回の学校評価から「学校は生徒にとってわかりやすい授業を進めている」で生徒：上位(そう思う・どちらかというと思う)83%、教職員上位89%に対して保護者は上位65%と低めの評価となっている。さらに学校評価より「生徒は、熱心に授業や家庭学習に取り組んでいる」で保護者：上位57%、生徒：上位68%よりあまり高くない評価であるが、教職員は、上位17%と厳しい評価となっている。生徒の授業態度、宿題提出、理解度等から出た数値であることが予想される。わかる授業、魅力ある授業とはどのような授業なのかを改め見つめ直し、来年度の校内研修につなげていきたい。

## ② 組織的な生活指導の充実と安全管理の徹底 ～いじめや暴力を許さない学校づくり～

- いじめ根絶を目標に未然防止のため、ふれあいアンケートを年間5回(6・9・11・1・2月)実施し、教育相談に繋げている。しかし、直接的な暴力、間接的な暴力(言葉、態度、SNS)は実際に根絶できていない。発生した初期対応として、学級、学年で対応すべきか学校全体で対応すべきかの判断を慎重に吟味し、いじめについては、校内いじめ防止対策委員会で対応し組織的に対応している。学校評価からも「いじめに適切に対応し、いじめのない学校づくりに取り組んでいる」で、保護者：上位76%、生徒：上位81%、教職員：上位94%という結果から、学校の対応について真摯に受け止め、引き続き組織的で丁寧な対応をしていき、生徒にとって安心して学校生活を送れる環境を作っていく。
- 落ち着いた学校づくりのためには、生徒の基本的な生活習慣を確立していくことが大切である。挨拶ができ、時間を守り、身だしなみを整え、言葉遣い・礼儀正しい言動についての指導は、全職員が同じ歩調で指導していくことが理想である。日々の学校生活で生活指導部を中心に行い、生徒会活動で生徒自ら主体的に生活改善を促している。学校評価から「挨拶など基本的な生活習慣についての指導に力を入れている」で、保護者：上位78%、生徒：上位91%、教職員：50%という結果から、教職員が生徒の基本的な生活習慣についての様々な課題があることが見えているが、改善できていないことが低い数値を表している。今後も、粘り強く取り組んでいく。
- 自他を大切にし、感謝の心の育成については、道徳科の授業を要として、教育活動全体で「命の教育」を推進していく。命の教育については、特色で触れていく。

## ③ 特別支援教育の充実～個に応じたきめ細やかな支援～

今年度の校内研修のテーマ「特別支援教育の充実」とした。4月から年間5回の校内研修を計画し実施した。現在の特別支援教室の通級している生徒の現状やその他の特性のある生徒の情報共有、そして、今年開級した特別支援学級F組の生徒の情報共有を行った。ユニバーサルデザインを意識した教室環境や授業展開を確認し、特性のある生徒への対応について、特別支援校内委員会で議論し全職員で共有し、生徒理解、生徒指導、進路指導等で配慮(合理的配慮)しながら進めている。また、12月20日(水)の校内研修会で十文字学園女子大学 中西 郁 様を講師としてお招きし、「一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の工夫」をテーマにご講演いただきました。講演では、特別支援教育の現状、インクルーシブ教育システムの構築、支援の基本的な考え方、知的障害特別支援学級の学びの連続性について、交流及び共同学習のポイントなど様々な角度からご教授いただきました。特性のある生徒への指導や支援の困難さについて意見交換され、校内だけでなく外部機関との連携と活用が重要であることを改めて実感した研修会でした。今後も継続的に研修等を行い、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援ができるように進めていく。

## (2) 特色ある教育活動への取組と評価

### ① 教育活動全体で「命の教育」

本校では、命の教育推進全体計画をもとに、各教科、領域等で横断的に教育活動に取り組んでいる。特に道徳科を要として、生命尊重にかかわる授業では、励まし合い、認め合える人間関係や動植物を愛する心を育て自他のかけがえのない命を尊重し、命を大切にす豊かな感性を育てることを目標として計画的に進められている。特に、6月に実施した道徳授業地区公開講座において、「生命尊重」を主題として各学年の共通の教材で実施した。授業後の意見交換会では、職員、保護者、地域の方と学校の状況や家庭教育、地域の状況等の意見を交換し情報共有を行うことができた。その他に、「赤ちゃんのカプロジェクト」(3学年・9月)、「がん教育」(2・3学年・12月)、「救急救命講習会」(3学年・3月)等の授業を実施した。10月に実施した全学年対象の「命の教育講演会」では、NPO 法人清瀬ラボの皆さんを講師としてお招きし、全校生徒を対象に「命の教育講演会」を実施した。市内の小中学校でも、「生命尊重」や「多様性」、「生き方」などについて多くの講演活動を行っている清瀬ラボの方々から、「命の大切さ」というテーマでご講演をいただいた。わかりやすい説明

と、生徒も参加できるロールプレイなど興味の尽きない内容で生徒も集中して参加していた。生徒からは「自分は自分で良いと思った」「個性の大切さを再確認できた」「自分の命も他人の命も尊重していきたい」などの感想が多くあげられ、十分な成果を得ることができた。

## ②「ステップルーム」の充実

「不登校が生じない魅力ある学校づくり」のための方策として、不登校対策室「ステップルーム」を令和2年度から開設し「居場所づくり」「継続した学び」を保証するために、オンライン授業を実施することや様々な支援方法を工夫しています。支援の工夫として①「不登校用個別指導計画」の作成・活用②学生ボランティアの活用。教員志望の学生を募り、オンライン授業の支援等の個別支援を行っている。③教室等の環境整備。ステップルーム専用の靴箱や衝立付きの机など特性に応じて落ち着いて学べる環境を提供している。成果として、①この3年間で、不登校出現率が減少している。(R2:4.9%、R3:2.5%、R4:2.2%)②教員の意識が向上している。学校評価でも「不登校対策に積極的に取り組んでいる」という問いに対して、全教員が肯定的な回答をしています。また、不登校対策委員会を中心に、情報共有、支援方法の確認などで、全職員への意識の向上につながったと考えている。その他に、ステップルームから教室へ移行している生徒や行事前後(宿泊行事も含む)の活動には参加するなど、ステップルームの生徒の変化も成果として挙げられます。今後の課題として、複雑な家庭環境の対策として、外部機関との連携の強化が挙げられる。

## ③「学校図書館」の充実

学力調査等の結果から本校の学校図書館の利用率や読書時間の少なさが課題である。各教科、領域で図書館を活用が不十分であることも原因であり課題である。現在、図書館支援員や司書担当教諭を中心に図書館運営に携わっている。今年度の活動として全学年の朝読書活動、1年生の図書館オリエンテーションとしてポップコンテストの参加、ビブリオバトルの参加、2年生の調べる学習コンクールの参加をし、10月21日(土)の清瀬教育の日ビブリオフォーラムにおいて発表をした。また、図書委員会を中心に、「読書の木」「図書館便りの発行」「図書給食」を行っている。今後は、環境整備として、生徒が落ち着いて読書・調べ学習を行うことができる、安らぎのある環境や知的好奇心を醸成する、開かれた「学びの場」としての環境を整えていきたい。そして、移動図書館として、2・3階の渡り廊下に開設し、多く生徒の図書に触れ、良さを味わってもらえるようにし、各教科、領域で横断的に図書館を情報学習センターとして機能させ利活用していく。

## ⑤外部講師による授業

1・2学年保健体育科武道の授業で剣道を選択し、10・11月に各学級5時間を専門性の高い清瀬市剣道連盟の方々を外部講師、指導員として招へいし、男女共習授業を実施した。武道の精神や技術について学ばせるとともに、日本の伝統文化への理解を深めさせることができた。

## ⑥「ハカ」を通して、異文化理解と三中伝統行事との融合

国際理解教育「異文化理解」の取組の一つとして令和2年度より実施し、主に翌年の運動会で3年生の演技として発表している。今年度は2年生が保健体育の授業で5日間の演技指導や創作アドバイスを受けている。事前学習や演技指導の際に、ハカについて学習し、ニュージーランドの伝統文化について学んでいる。ハカは、「相手に対する敬意や感謝の意を表する」舞として披露されている。そのため、2年生の1・2月で学んだ成果を、卒業式後に3年生にハカを披露することで、先輩に対しての敬意や感謝、卒業の祝い、三中伝統ハカを受け継いだことを伝える時間としている。

以上が、今年度の学校経営計画に基づく主な取組について分析、報告となります。3月号では、保護者、生徒、職員、学校関係者によるアンケート集計の結果及び分析、来年度に向けた主な学校経営計画を掲載いたします。

## 【1 学年スキー教室】（「1 学年だより」から抜粋）

スキー教室は、1 年生にとってとても大きな行事であり、楽しみにしていた2泊3日のスキー学習が無事終了しました。実行委員を務めた生徒たちは、主に放課後の時間を活用しながら準備を進めてきました。係会の運営を行ったり、ルールを守ったりすることについて積極的に呼びかけをし、皆の意識を高めていました。スキー実行委員のメンバーもリハーサルを含めて、皆を楽しませる準備をしてくれました。初日の夜のレクは大成功で全員が笑顔になりました。また、他の生徒たちも、実行委員の気持ちに答え、三中生として恥ずかしくない自覚ある行動ができました。何より、初日の集合時間を守り、予定より早く出発することができたのは素晴らしかったです。5分前行動、健康管理など、基本的な生活のルールを守り、宿舎で過ごすことができました。



スキー学習では、学校の外に出ていろいろな人たちと触れ合って活動しました。特にスキー講習ではインストラクターの先生方の話を素直に聞いて、講習をする度に上達していきました。初日は吹雪の中で本当に寒い中での講習でしたが、2日目から徐々に天候も回復し、前向きな気持ちで講習に励んでいました。インストラクターの先生方との最後のあいさつでは、感謝の気持ちを自分たちの言葉で、心を込めて伝える姿が見られました。

生徒たちは様々な経験を通して、今回のスキー教室の目的を達成できたと思います。2年後の修学旅行につながる取組になりました。保護者の皆様もスキー教室に向けて、準備等にご協力いただきありがとうございました。生徒の取組をたくさん褒めてあげてほしいと思っています。

## 【清瀬市教育フォーラム】

1 月 27 日土曜日、清瀬市児童センターコロポックルにて、清瀬市中学校 5 校の生徒会役員による 5 校交流会が行われました。本校からは、2 年生の生徒会役員二名が参加しました。今年度の 5 校交流会のテーマは「いじめ撲滅宣言」でした。壮大なテーマではありますが、各校いじめの原因やなぜいじめがなくなるのか等の意見や普段のどのような取り組みをしているか等を持ち寄り、発表、そして討論を行いました。討論では、5 校の代表者を中心に、現在行っている活動を活性化させる



工夫や新たな視点からの取り組みなどを話し合いました。緊張している様子も見られましたが、清瀬三中の代表者として立派に意見の発表をしたり、各校の代表と積極的に討論したりすることができていました。

今回の交流会を通して、普段の生徒会の活動が思いやりの心を育むことにつながっていると再認識することができ、活動に自信をもつことができました。これからも、全校生徒が過ごしやすい明るく笑顔にあふれる学校を目指し、活動していきます。



### 2月の予定

- 2日(金) 都立推薦発表・手続き
- 5日(月) 全校朝礼、安全指導 中央委
- 6日(火) 避難訓練①カット、専門委・中央委
- 11日(日) 建国記念の日
- 12日(月) 建国記念の日振替休日
- 13日(火) 生徒会朝礼
- 20日(火) 1・2年生英語スピーキングテスト
- 21日(水) 都立一次・分割前期検査 新入生説明会
- 23日(金) 天皇誕生日
- 27日(火) 学年末考査(理・国・美)
- 28日(水) 学年末考査(数・英・技家)
- 29日(木) 学年末考査(社・音・保体)

### 【表彰】

- <陸上部>
- ・第 62 回東京都中学校ロードレース大会
- 赤井 秋斗さん
- 男子 2・3 年東部 2km 競走
- 第 1 位 記録 6 分 50 秒
- 鈴木 向日葵さん
- 女子 1 年東部 1km 競走
- 第 6 位 記録 3 分 46 秒
- <水泳>
- 福島 可絵さん
- 清瀬市教育委員会表彰スポーツの部
- ※昨年関東大会に出場した功績で表彰されました。